

評価表

提案書記載項目			提案内容	配点	内訳	主な評価のポイント等	
No.	大項目	小項目					
1	提案者の概要	(1) 企業名（部署名）	副本は「□□□」等の記号を表記すること。	/	/		
		(2) 所在地	副本は「□□□」等の記号を表記すること。				
		(3) 電話番号、FAX番号、e-mailアドレス	副本は「□□□」等の記号を表記すること。				
		(4) 連絡担当者（氏名・役職）	副本は「□□□」等の記号を表記すること。				
		(5) 事業概要	本業務に関連する事業のみ記載すれば足りる。				
		(6) 業務実績	以下の業務に関する過去5年以内（H28年度～R2年度に完了した業務）の実績について記載すること。 ● 地方公共団体が発注した 都市公園における官民連携手法検討に係る業務（PFIやPark-PFIをはじめとした民間活力導入可能性調査やPFIアドバイザリー業務） ※ 業務名、発注者名（地方公共団体名）、業務実施年度（契約年度及び完了年度）				
2	実施体制	(1) 担当職員の配置計画	配置予定者について、以下の項目を記載すること。 ①所属・役職・経歴 ②本業務の担当分野 ※ 本業務の遂行にあたって、市担当者との協議の窓口を担う「主担当者」、主担当者を専門分野でサポートする技術者等の「副担当」、総括的な「管理者」などの別を記載すること。 ※ 協力企業からの技術者等の配置があればそれも記載すること。	40	10	★本業務を遂行するための管理体制が十分か。また、本業務を遂行するために必要な分野の職員が配置されているか。 ①業務を遂行するにあたって、担当者、管理者等の役割が明確であるか、バランスがとれた所属や職責の担当者を配置しているかを評価する。 ②担当者の分野に偏りや漏れがないかを評価する。	
		(2) 配置予定者の保有資格	配置予定者について以下の資格の保有状況を記載すること。 ①技術士（建設部門又は経営工学部門）（必須） ②一級建築士（必須） ③その他経営に係る資格等（国家資格や関連する分野の学位など）本業務に有用と思われる資格等（任意） ※①、②については、仕様書2.業務内容(3)施設等配置プランの検討や(7)事業性の検討③概算事業費等の算定に必須なものであるが協力企業等の専門技術者等でも可とする。			10	★本業務を遂行するために必要または有用な資格を持った職員が配置されているか。 ①技術士（建設部門又は経営工学部門）の有資格者が配置されているか（必須）。 ②一級建築士の有資格者が配置されているか（必須）。 ③上記①、②の他に(1)担当職員の配置計画に提案された分野ごとに資格等を持った者が配置できているかを評価する。
		(3) 配置予定者の実績	配置予定者について以下の実績を記載すること。 ①都市公園等の官民連携手法検討に係る業務実績（PFIやPark-PFIをはじめとした民間活力導入可能性調査やPFIアドバイザリー業務）【過去5年間】（必須） ②都市公園等に係る基本計画や実施設計業務実績【過去5年間】（必須） ③その他本業務に有用と思われる実績【年限は問わない】（任意） ※ 実績は①②③ごとに3業務以内とすること。 ※ 配置予定者がどういった立場で当該業務に従事したか（主担当者、副担当者、管理者など）を記載すること。 ※ ②については、協力企業等の専門技術者の実績も可とする。			20	★本業務を遂行するために必要な知識やノウハウを十分に持ち合わせた職員が配置されているか。 ①本業務に関連するPFI/PPPに係る業務実績を有しているか。※官民連携手法導入調査やPFIアドバイザリー業務などの実績を記載すること。都市公園や自然公園における動物園・水族館など入園料収入を得る施設における実績等、本件に類似するものをより高く評価する。 ②本業務に関連する都市公園や自然公園の設計業務実績を有しているか。※郊外型のリゾート要素のある施設の実績等、本件に類似するものをより高く評価する。 ③上記①、②の他に有用と思われる業務実績があれば評価する。特に、「3業務の実施方針・取組にあたっての考え方」、「4自由提案」における提案内容と整合が取れた実績を評価する。
3	業務の実施方針・取組にあたっての考え方	(1) 官民連携手法検討、事業スキーム検討のアプローチ	本業務の以下の特性を踏まえて、官民連携手法や事業スキームの検討にあたって、どのような点に留意して検討を進めるべきと考えるか業務へのアプローチ手法を提案すること。 【視点1】市として動物園の移転に係る官民連携手法の成立と、丘側への民間投資の双方を期待していること。	40	10	★本事業の特性や仕様書の内容に対する理解があるか。 ★本件の官民連携手法や官民の役割・リスク分担、事業スキームの検討にあたって、【視点1】を踏まえた検討のアプローチ手法が、これまでの提案者の実績や経験を踏まえより具体的に分かりやすく提案されているか。	
		(2) 官民連携手法検討、事業スキーム検討のアプローチ	本業務の以下の特性を踏まえて、官民連携手法や事業スキームの検討にあたって、どのような点に留意して検討を進めるべきと考えるか業務へのアプローチ手法を提案すること。 【視点2】市として動物園の移転整備及び運営において、民間のノウハウを活かした収支改善（入園料の見直しも含む）を期待していること。			10	★本事業の特性や仕様書の内容に対する理解があるか。 ★本件の官民連携手法や官民の役割・リスク分担、事業スキームの検討にあたって、【視点2】を踏まえた検討のアプローチ手法が、これまでの提案者の実績や経験を踏まえ具体的に分かりやすく提案されているか。
		(3) 市場調査のアプローチ	上記(1),(2)に掲げる本業務の特性に鑑みた、市場調査のアプローチ手法（個別対話やオープン対話の別や回数、対象事業者の選定やプラットフォームの活用方針など）を提案すること。			10	★本事業の特性や仕様書の内容に対する理解があるか。 ★検討の熟度に応じた適切な手法や回数の官民対話の考え方について、これまでの提案者の実績や経験を踏まえ具体的に分かりやすく提案されているか。
		(4) 工程計画	仕様書に基づく各種業務をどのような手順で進めていくべきを示した工程計画を提案すること。			10	★本事業の特性や仕様書の内容に対する理解があるか。 ★(1),(2),(3)及び4自由提案の内容と整合が取れた工程計画となっているか。特に、市場調査のタイミングと各種検討の熟度との間に整合がとれているか。
4	自由提案		3 業務の実施方針・取組にあたっての考え方 における提案以外で、仕様書や資料に基づく事業の特性や課題、本市の意向を踏まえ、本業務の遂行において重要であると思われる検討の視点やそのアプローチ手法を提案すること。※仕様書にない業務の実施を求める趣旨ではない。	10	10	★本事業の特性や仕様書の内容に対する理解があるか。 ★本業務の遂行にあたって有意義な検討の視点そのアプローチ手法が、これまでの提案者の実績等を踏まえ具体的に分かりやすく提案されているか。	
小計（提案書配点）				90	90		
5	プレゼンテーション評価	(1) 提案者の人物評価	・説明の説得力 ・取組みへの意欲・熱意 ・表現の分かりやすさ ・意思疎通能力の高さ ・質疑応答の的確さ など	10	10	★提案の核となる考え方等を明瞭かつ具体的に説明できているか。 ＜例＞ 補足説明が多くなり、説明の核となるべき部分が不明瞭である⇒低評価 ★審査委員の質問に対し、場合によってその意図を確認するなど、的確に意思疎通を図ることができるか。 ＜例＞ 質問の趣旨と異なる回答に終始してしまう⇒低評価	
小計（プレゼンテーション配点）				10	10		
提案評価配点 合計				100	100		